

# 【4m鯉のぼりポールスタンドセット】

《地上用》

(型番 KST4-P1201)

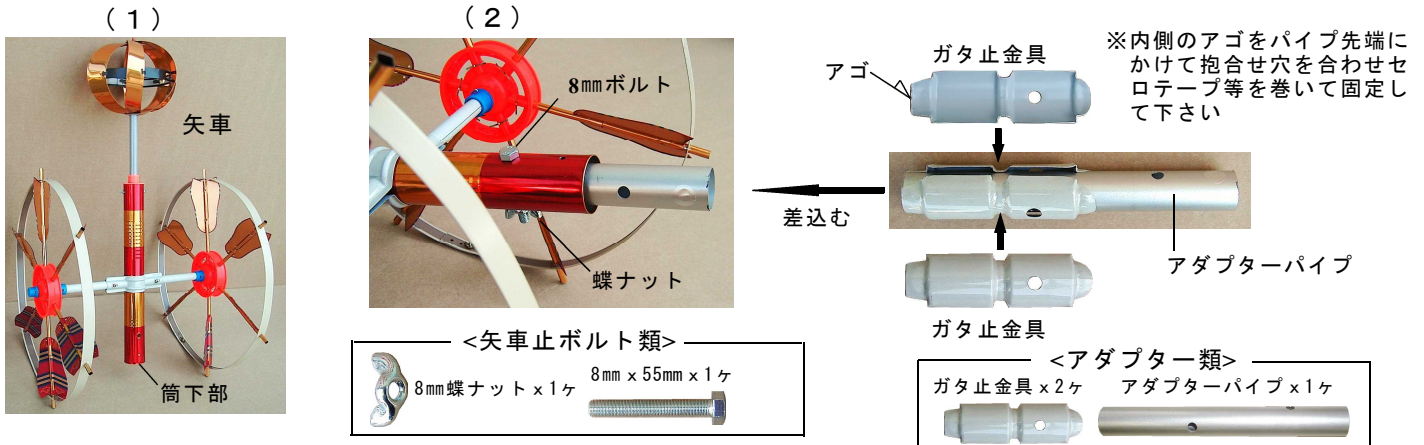
※組立を始める前にこの説明書をよくお読みになり作業をして下さい

◆組立は大人2名以上で作業を行ってください

## 【1】矢車の組立

(1) 矢車を附属の説明書に従って組立て下さい

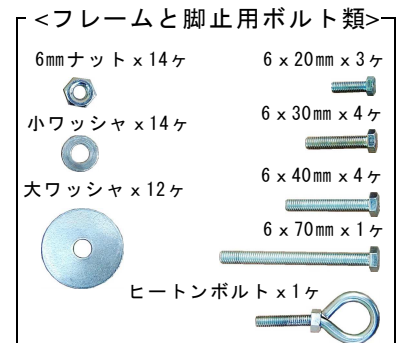
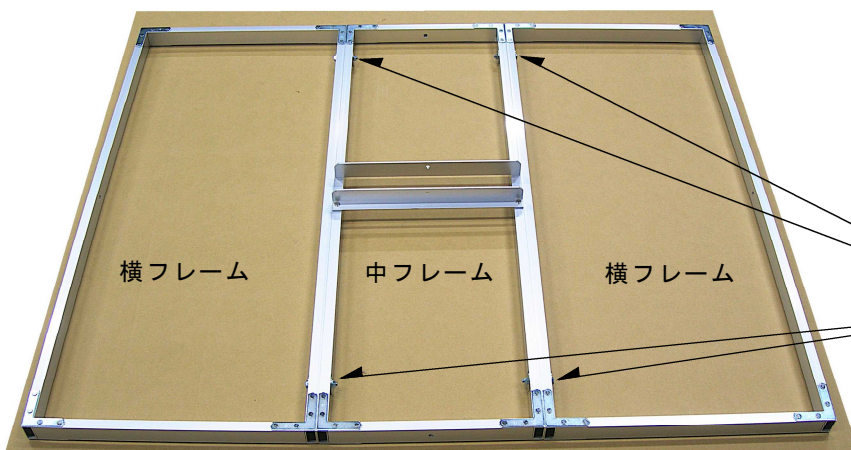
(2) アダプターパイプにガタ止金具を抱合せ矢車筒下部に差込みボルトで止めて下さい



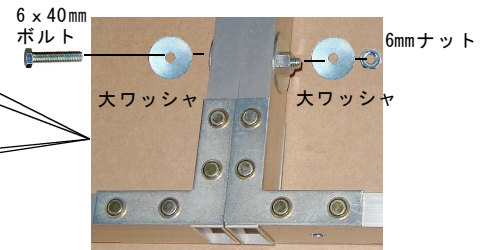
## 【2】フレームの組立

★フレームを下の図のようにならべて

6 x 40mmボルトで4ヶ所を止めて連結してください

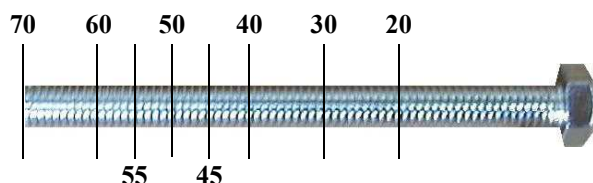


☆ボルト等は紛失しないよう空箱等にあげてボルトを短い順にならべておくと便利です！



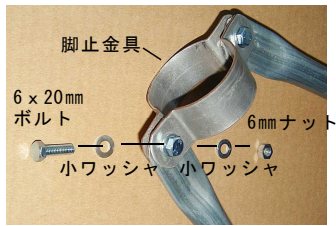
### ボルトサイズ早見表

右の図の上にボルトをのせてサイズを確認して下さい。



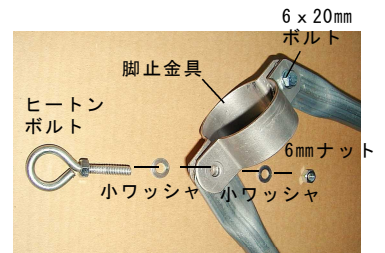
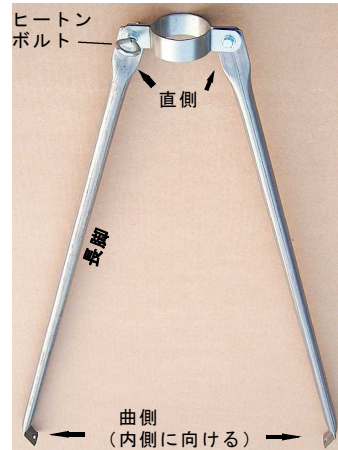
### 【3】短脚と長脚の仮組付け

#### (1) 短脚の仮組付け



☆短脚直側を脚止金具2枚でハサミ合せ6x20mmボルトで仮組しておきます

#### (2) 長脚の仮組付け



☆長脚直側を脚止金具2枚でハサミ合せ6x20mmボルトとヒートンボルトで仮組しておきます

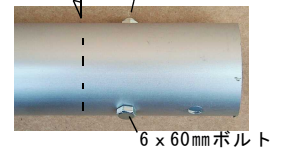
#### (3) ポール外側パイプにボルトの取付〔中側パイプの下抜け防止！〕

外側パイプのみ少しズラす



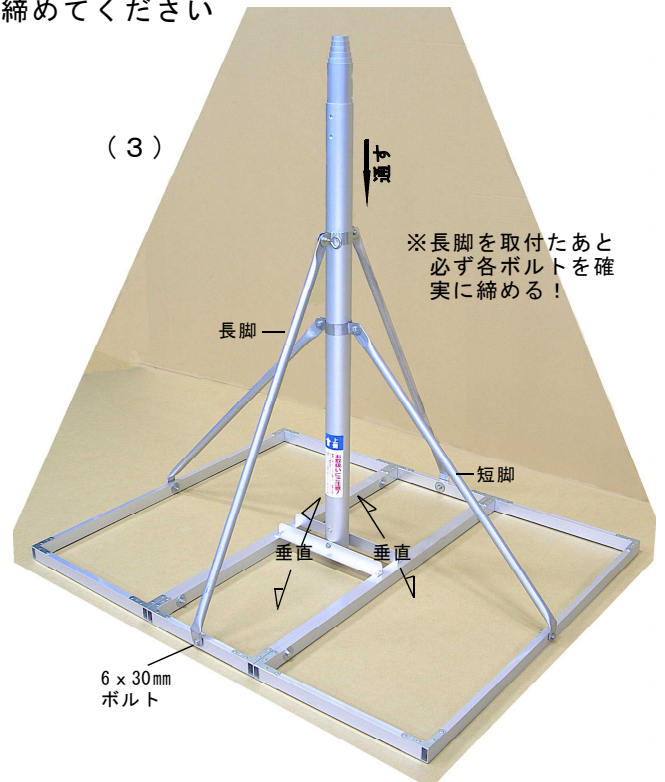
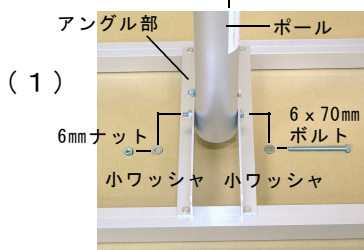
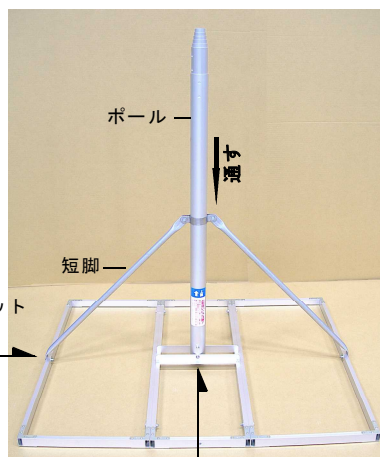
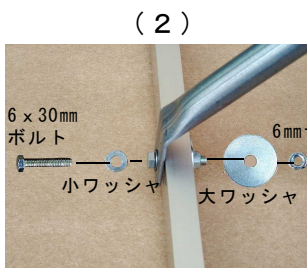
☆ポール外側パイプのみを少し下へズラシ下から2番穴をのぞき残りのパイプが無い事確かめ6x60mm (ポール止ボルト)を通して止めて下さい (中側パイプが起こした時に下にぬけない様にする為)

中のパイプ底部位置 袋ナット



### 【4】ポールと短脚・長脚の取付

- (1) ポール下部〔下から1番穴〕を中フレームのアンクル部に取付けます
- (2) 短脚止金具部をポール先端から通し横フレームの止穴に脚を止めます
- (3) 長脚止金具部をポール先端から通し中フレームの止穴に脚を止めポールの角度を垂直〔90度〕にして各ボルトを確実に締めてください



## 【5】矢車と滑車〔掲揚ロープ〕の取付け

(1) 1つの砂袋に小ジャリか砂を約15kg以上入れフレームに左の図の様に6ヶ載せて下さい。

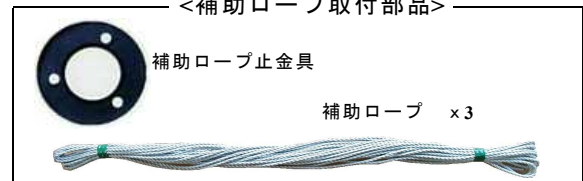
(2) 補助ロープ止金具の3ヶ所の穴に補助ロープをそれぞれ結んでください。次にポールの先端から補助ロープ止金具を5番パイプまで差し込んで下さい。

(図1参照)



図1

<補助ロープ取付部品>



(3) 先端パイプ〔最細管〕を引出し矢車のアダプターパイプを差込み6×40mm(ポール止ボルト)と袋ナットで取付けます

(図2参照)

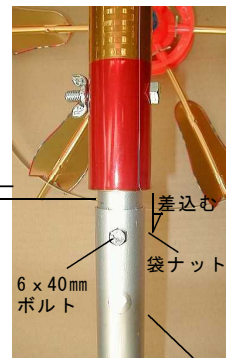
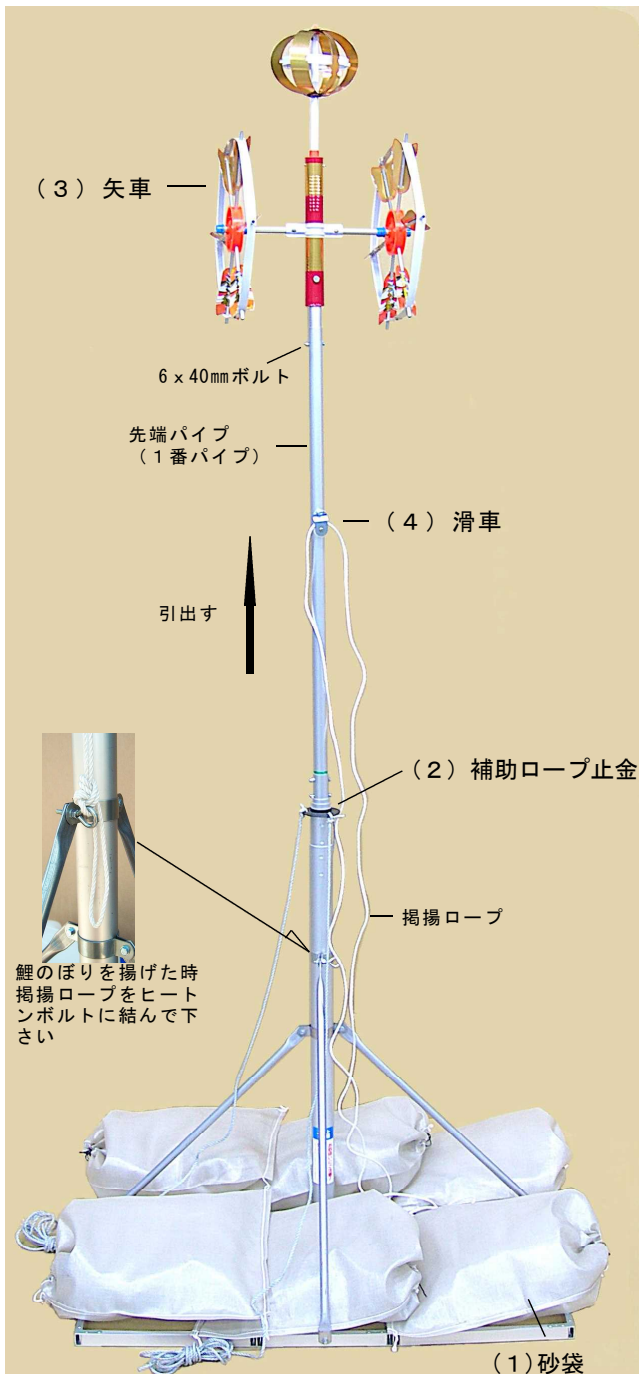
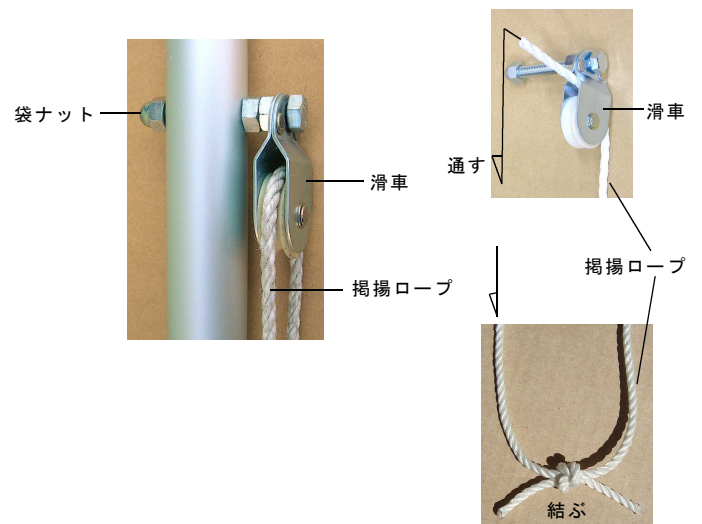


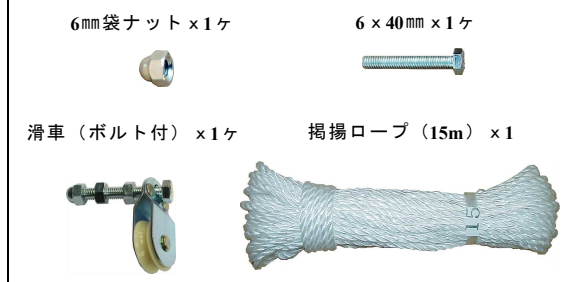
図2 先端パイプ

(4) 先端パイプの中間穴に滑車を取付けます〔掲揚ロープを先に滑車に通して両端を結んで下さい〕



鯉のぼりを揚げた時掲揚ロープをヒートンボルトに結んで下さい

<先端パイプ取付部品>



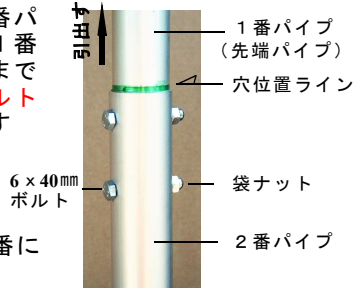
☆ボルト等は紛失しないよう空箱等にかけてボルトを短い順にならべておくと便利です!

## 【6】ポールの伸長



### 《ポールの伸ばし方》

★先端パイプ（1番）と2番パイプを一緒に少し引出し1番パイプのみ穴位置ラインまで引出し穴を合わせ**短いボルト**から**順番**に使って止めます



★同様にして各パイプを順番にボルトで止めて下さい

## 【7】補助ロープの張り方

●ペグをしっかりと所に打ち、ロープが**正三角形**になるように**ピンと張りにしっかりと**結んでください。（ペグが打てない場合は建物などに結んで下さい）

### <主要部品の説明>



※小部品・ボルト類の説明は各項目にあります

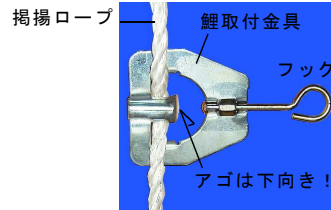
※仕様や部品等を製品改良の為、予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承ください

◇補助ロープが張り終わりましたら鯉のぼりを掲揚ロープに取付けロープ端をヒートンボルトに結んで揚げて下さい



### 《鯉取付金具の取付方》

(1) 鯉のぼりのロヒモをフック (2) 掲揚ロープの結び目から下へ少し離れた所に図のように最初に吹流しを取付け少し間隔をおいて大きい物から順番に取付けて下さい



鯉のぼりのロヒモを先に結ぶ！

※鯉のぼりの種類によりロヒモの本数や取付方が異なる場合がありますので鯉のぼりの説明に従って取付けて下さい



### 《※ご注意》

鯉のぼりの色・柄・取付方は種類により異なります

### 《※使用上のご注意》

- ◆ スタンドは地上でご使用ください（ベランダや屋上等ではご使用出来ません！）
- ◆ 鯉のぼりは4mセット以下で吹流しを含め4匹以下でご使用ください
- ◆ スタンドフレーム全体に、計90kg以上の重りを載せてご使用ください
- ◆ 強風（風速6m以上）の場合はご使用を中止しポールを短く収縮して下さい

本製品につきましてご不明な事がございましたら、製品名を確認のうえ、  
（株）ワイエスヤマザキ お客様センターにお問い合わせください。

お客様センター 0276-45-5005

# 矢車組立説明書 (ポールスタンド用-A)

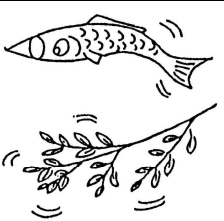
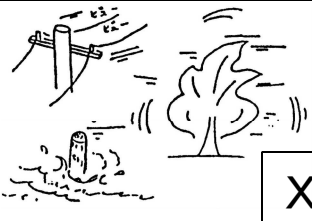
※安全に正しくお使い頂く為に、必ずお読みになり良く理解をされて、警告や注意事項を厳守して下さい。

## ⚠ 注意 (組立について)

- 組立てる時は手袋を着用して工具を使い、説明書に従って確実に組立をし、けが等に注意をして下さい。
- 組立ての際、小部品を紛失されないように、空箱に入れて作業をして下さい。

## ⚠ 警告 (ご使用について)

- 矢車は消耗品です。安全のため毎年、新しい物に取替えてご使用ください。
- 矢車のご使用は、五月節句が過ぎましたら危険防止の為、速やかにご使用を中止して取外しをしてください。
- 矢車は強風(風速8m以上)の時は、破損して落下し事故につながる危険がありますので、矢車のご使用を控えて下さい。

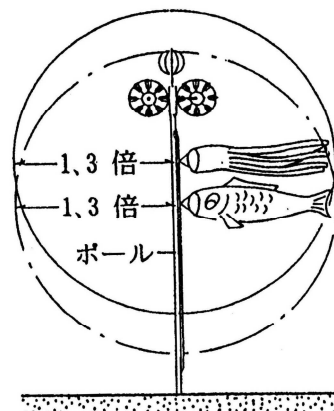
風速5.4m以下	風速8m以上
	
○	X
鯉のぼりがユッタリ泳ぎ 小枝等がサラサラゆれる	電線が鳴り、木立がゆれ 水面が波立つ

## ⚠ 警告 (取付について)

- 矢車をポール等に取り付ける時は風が静かな(風速5.4m以下)天候のよいおだやかな日を選んで行ってください。
- 木竿に滑車を取付ける場合、矢車から下へ1~1.5m位離して取付けて下さい。距離が近いと、矢車に鯉のぼりが絡みやすく破損や事故等の原因になります。
- 矢車・鯉のぼり・ポール等が電線に触れると感電事故になり大変危険です。ポール等を設置する場合鯉のぼりを揚げた時を想定して、電線や障害物に触れない安全な場所を選んで設置して下さい。

### 【鯉のぼり遊泳範囲】

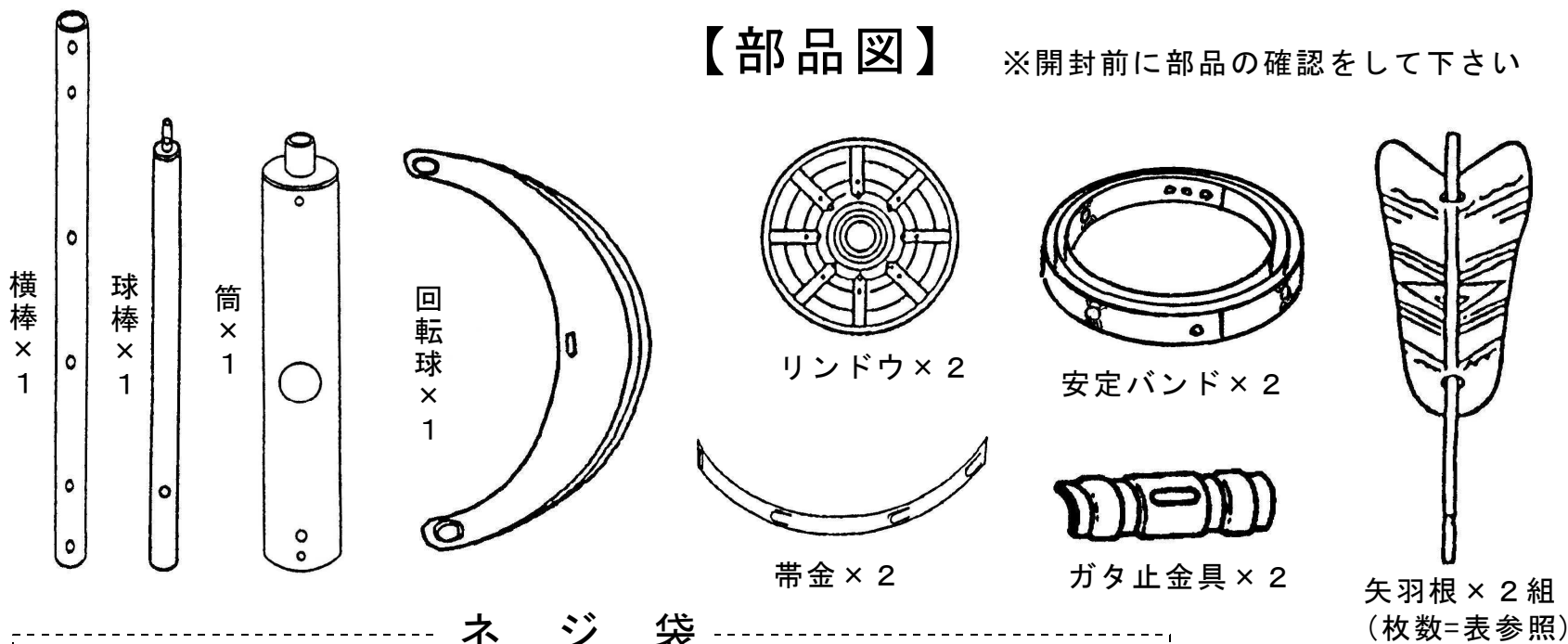
鯉のぼりはポールを中心に球状の円の範囲を泳ぎます。



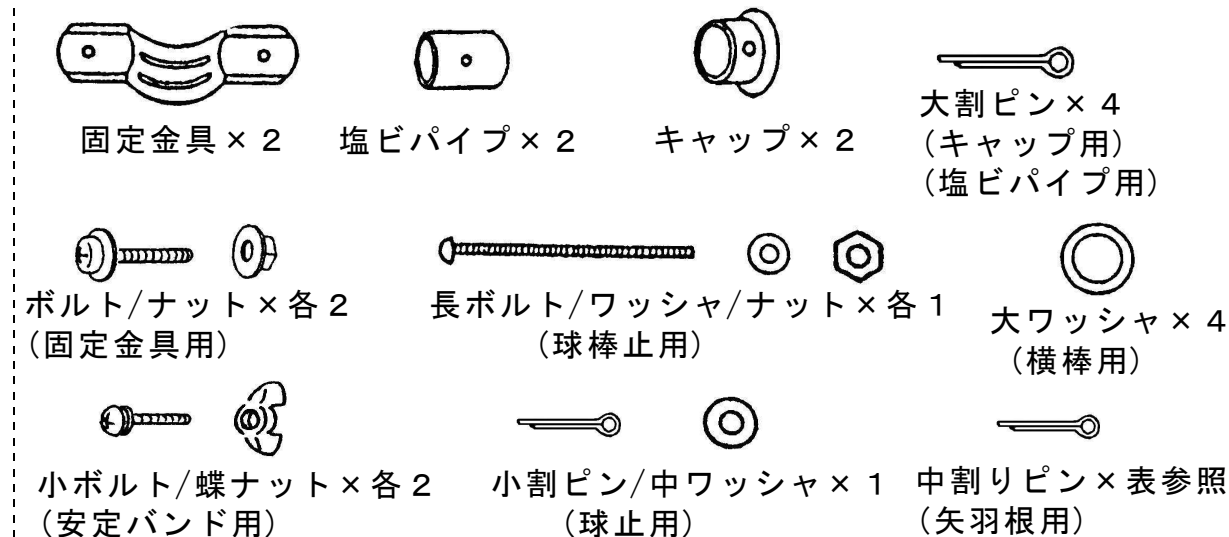
- ・円の半径は各鯉のぼりの長さの1.3倍です
- ・範囲内に電線や障害物が無い事を確認し、安全を確保されて、ポール等を設置して下さい。

## 【部品図】

※開封前に部品の確認をして下さい



## ネジ袋



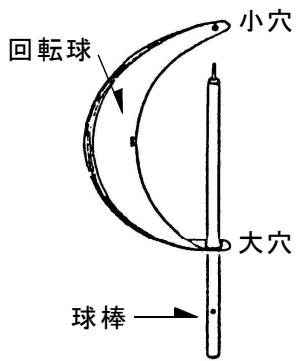
中割りピン	矢羽根
12本	右6枚 左6枚

部品はサイズにより形が異なったり数量が余る場合があります。ご了承下さい。

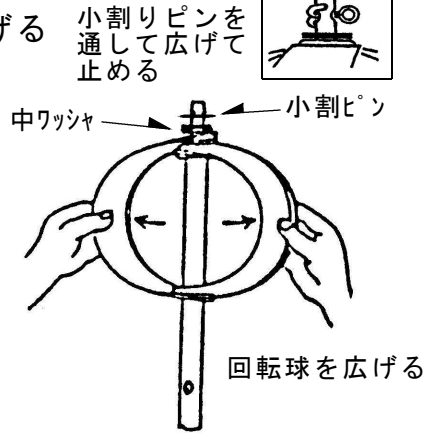
# 【組立て方】 (ポールスタンド用-A)

## 1 回転球の組立

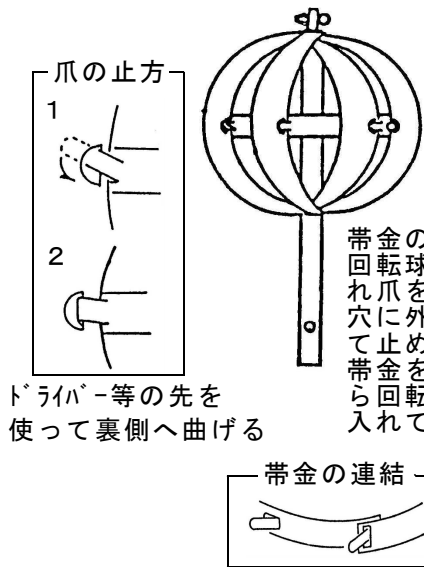
### ① 球棒に通す



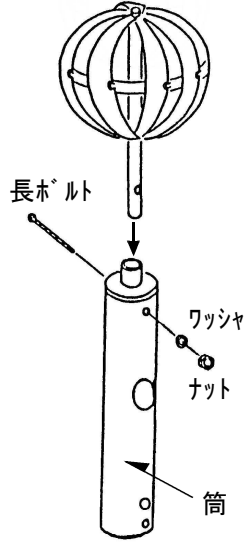
### ② 広げる



### ③ 帯金をつける



### ④ 筒に止める

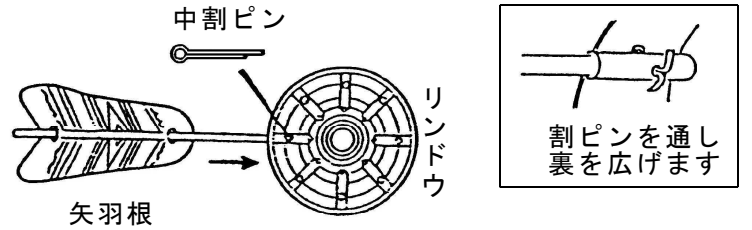


帯金の爪を起し回転球の内側から入れ、爪を回転球の外側から入れて止め、帯金を連結してから回転球の穴に入れて下さい。

ドライバー等の先を使って裏側へ曲げる

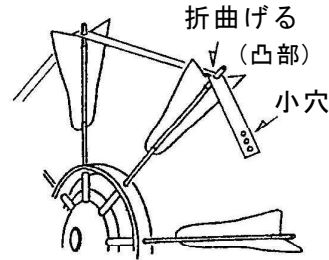
## 2 矢車の組立 (2組作ります)

### ① 矢羽根の取付 (注) 矢羽根には左側と右側があります



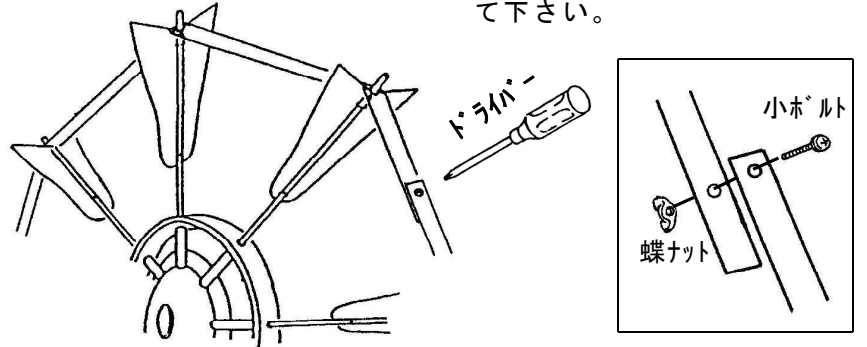
### ② 安定バンドの取付

・小さく丸めてある安定バンドを、まっすぐに伸ばしてください

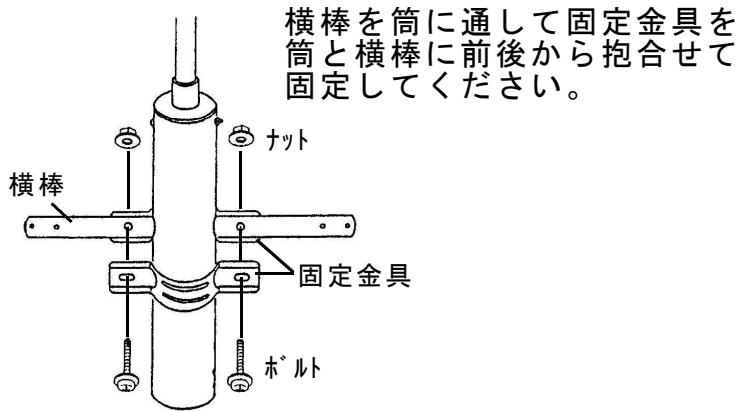


・安定バンドの小穴(3ヶ)側より止穴を矢羽根の先端に差込み、羽根角度(凸部)に合わせて折曲げ順番に行います。

・安定バンドの両側を強めに引合わせて、小穴を合わせドライバーにて確実に止めて下さい。

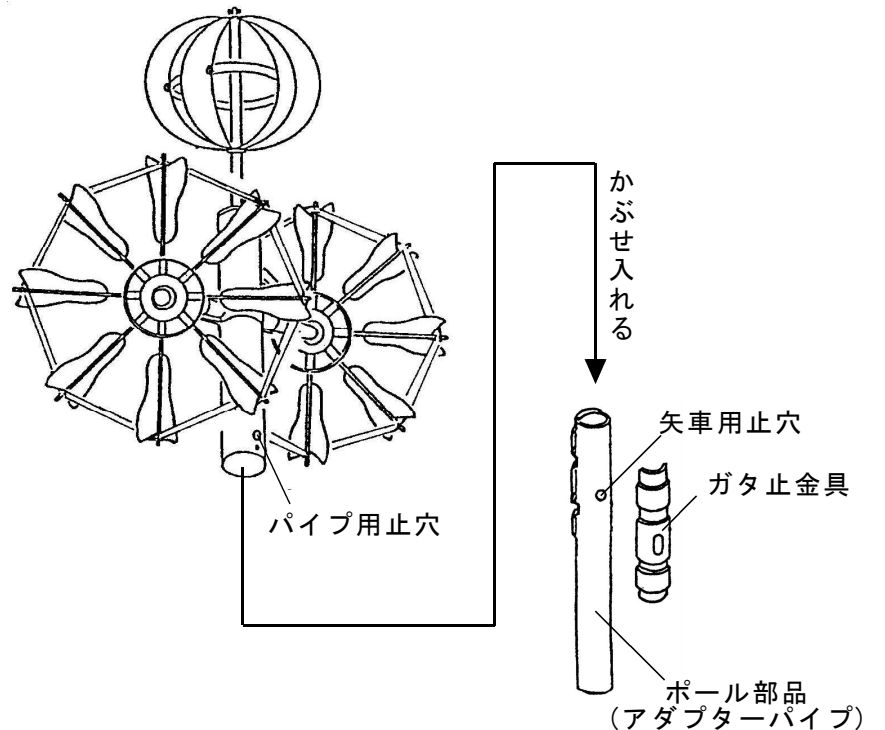


## 3 筒の組立



横棒を筒に通して固定金具を筒と横棒に前後から抱合せて固定してください。

## 完成図 ※サイズにより多少形が違います



※製品の仕様は改良の為、予告なく変更する場合がございます。

本製品につきましてご不明な事がございましたら、製品名を確認のうえ(株)ワイエスマザキ お客様センターにお問合せください。

お客様センター 0276-45-5005

## 4 矢車の取付

横棒に塩ビパイプを通し(穴位置の長い方が筒側)大割ピンで止め、次に大ワッシャ・リンドウ・大ワッシャ・キャップの順に差込み、キャップの穴に大割ピンを通し裏側を広げて止めて下さい。(反対側も同様に取付けて下さい)

